

平成 29 年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 活動状況報告書

## 未来につなぐカエデの森づくり (H27)

### NPO法人 秩父百年の森

#### 事業の目的・内容

秩父の森も、国立公園内など原生林の姿を残しつつも、半分近くはスギやヒノキを中心とする人工林単一な植生に作り替えられています。用材に適した樹齢に育ってきたそれらを間伐した後に、広葉樹の苗を植え、これまで育ててきたスギやヒノキの人工林も大切にしながら、少しずつ生物多様性をそなえた本来の豊かな混交林を取り戻す活動を、山で材を生産する人と、山から出た木材を利用する人たちがつながって一体となった取り組みです。

#### 今までの活動状況

東京の住宅メーカーの皆様、この森の材で家を建てられた方、荒川の河口に勤務している方、荒川中学の生徒などの参加で 196 本(2015 年)146 本(2016 年、天候不順で関係者で実施)を植樹、「大きく育て、将来たくさんのメイプルがとれ、紅葉として観光業と林業に役だって」「若い世代が山に帰るきっかけとなると良いと思います」などのメッセージを頂いています。

未来の主体となる子どもたちが参加してくれて、秩父の山のことを考えてもらえるきっかけになってもらえることは、今回の植林の大きな目的でもありました。



#### これからの活動・行事

第 3 回の植樹を平成 29 年 10 月 29 日に実施。この取り組みは、山で材を生産する人と、山から出た木材を利用する人たちがつながっている点が重要です、これからは主催を山側の大滝山林振興協議会、街側を伊佐ホームズ・大野建設・森林パートナーズで行い、NPO 秩父百年の森は苗づくりとサポートを行う新体制で執り行っていきます。